

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-2  
発達段階に応じた教育の振興

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 教育指導課管理監（地域教育推進室長） 竹下 勝 電話番号 0852-22-5738

事務事業の名称	子ども読書活動推進事業	
目的	(1) 対象	児童生徒、保護者、教職員（学校司書等を含む）
	(2) 意図	学校図書館の充実と活性化を図り、児童生徒の豊かな心（感性・情緒）を育むとともに、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる。
事業概要	学校司書の全校配置（司書配置事業）を核とし、次の事業を通して、学校図書館の充実と活性化を図り、小中学校の読書活動と学校図書館活用教育を推進する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市町村の学校司書の配置に対して、財政的な支援を行う。</li> <li>・司書教諭養成のため、島根大学司書教諭講習への参加旅費、放送大学での資格取得に伴う入学金及び授業料を助成する。</li> <li>・司書教諭が中心となって推進する学校図書館活用教育を研究するため、研究地区に非常勤講師を配置する。</li> </ul>	

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	「読書が好き」という質問に肯定的回答する児童の割合【小学校】	目標値		72.0	73.0	74.0	75.0	%
	式・定義	肯定的回答をした児童数/全児童数×100	実績値	70.6	71.6				
			達成率	-	99.5	-	-	-	
2	指標名	「読書が好き」という質問に肯定的回答する生徒の割合【中学校】	目標値		72.0	73.0	74.0	75.0	%
	式・定義	肯定的回答をした生徒数/全生徒数×100	実績値	71.1	72.2				
			達成率	-	100.3	-	-	-	

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	156,431	171,140
うち一般財源 (千円)	155,024	171,140

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・「読書が好き」という質問に肯定的回答する児童生徒の割合はそれぞれ71.6%、72.2%である。平成27年度比でそれぞれ+1.0%+1.1%、全国平均比で-3.0%、+2.3となっている。県の実績値は上がっているが、小学校では、全国平均より低く、中学校では高いという傾向が続いている。  
 ・「1日に30分以上読書をする児童生徒の割合」はそれぞれ31.4%、26.8%である。平成27年度比で-2.7%-4.4%、全国平均比で-5.1%-1.4%となっている。全国的にも数値は下降傾向だが島根県はそれを上回って低い数値となっている。  
 ・学校司書の配置は、平成29年度も勤務時間の短い学校図書館支援員から勤務時間の長い学校司書への移行が進んでいる。学校図書館支援員の配置割合は、平成21年度の57.9%から平成29年度の30.7%となっている。  
 ・平成28年度（隔年調査のため）の司書教諭発令率は、小学校83%、中学校78%であり、前年に比べ小学校では1ポイント、中学校では5ポイント増えた。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・学校司書の配置が100%となり、勤務時間も長くなるにつれて、学校図書館を活用する授業が全体的に増えている。  
 ・市町村が図書館活用教育の有用性を認識し、学校図書館支援員から学校司書への移行が進んでいる。市町村教育委員会による研修会の実施など学校への支援も増えている。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

・「司書教諭と学校司書が協働して学校図書館機能の充実を図り、読書活動及び学校図書館活用教育を推進する」という事業の趣旨の周知が徹底しておらず、学校図書館の活用について学校間・校種間・地域間で差がある。

### ②困っている状況が発生している「原因」

・学校図書館を活用した教育の具体的なイメージやその意義の理解についてばらつきがある。  
 ・学校司書の勤務時間に地域間での差があり、学校図書館活用教育の推進に十分に関わることができない。

### ③原因を解消するための「課題」

・学校図書館を活用した教育の具体的なイメージやその意義の理解についての普及。学習の基盤としての読書活動の重要性や言語活動の充実についての共通理解の推進。  
 ・司書教諭や学校司書による授業支援が充実するために学校司書の勤務時間増や司書教諭が学校図書館に係る時間の確保。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・市町村と連携し、学校図書館を活用した教育の具体的なイメージやその意義の理解について、研修会、公開授業、モデルとなるカリキュラムの提示などを通じて県内に普及していく。（特に次期学習指導要領において学校図書館をいかに活用するかについてを重視）  
 ・司書教諭や学校司書による授業支援が充実するために学校司書の勤務時間増や司書教諭が学校図書館に係る時間の確保などについて市町村に働きかける。  
 ・県立図書館に配置された指導主事と連携し、学校図書館活用教育の推進を図る。

事務事業評価シート別紙(3以上の成果参考指標がある場合のみ記載)

事務事業の名称	子ども読書活動推進事業
---------	-------------

成果参考指標の目標(実績)

項番	成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
3	指標名	1日に30分以上読書をする児童の割合	目標値		36.0	39.0	42.0	45.0	%
			取組目標値						
	式・定義	30分以上の児童の数/全児童数*100	実績値	34.1	31.4				%
			達成率	—	87.3	—	—	—	
4	指標名	1日に30分以上読書をする生徒の割合	目標値		32.0	33.0	34.0	35.0	%
			取組目標値						
	式・定義	30分以上の生徒の数/全生徒数*100	実績値	31.2	26.8				%
			達成率	—	83.8	—	—	—	
5	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
6	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
7	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
8	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
9	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	
10	指標名		目標値						
			取組目標値						
	式・定義		実績値						%
			達成率	—	—	—	—	—	